

福島第1原発「汚染水」問題経過年表（2011年3月11日～）

（新聞、NHKweb news、東電・首相官邸・通産省のHPなどの記事から作成）

年月	安倍・首相政府 施策・発言	東電の動き	地元・メディア・海外ほかの動き
2011年3月11日～	<p>2011年3月11日：第1回原子力災害対策本部会議</p> <p>4月4日：汚染水の海への放出を受けて、原子力安全委員会・保安院「大きな危険避けるためやむを得ない」</p> <p>4月11日：第15回原子力災害対策本部会議、放射線汚染水について議題となる</p> <p>9月19日：原子力規制委員会発足（田中俊一委員長、2013年2月14日国会同意）</p> <p>12月16日：野田首相、原発事故収束宣言</p> <p>12月21日：原子力規制委員会のもとに第1回特定原子力施設監視・評価検討会開催</p>	<p>2011年4月4日：放射性物質を含む汚染水1万1500トンを海に放出と発表</p> <p>2011年6月3日：汚染水浄化装置間に合わず、漏出の恐れ</p> <p>6月4日：汚染水浄化装置（アレバ）、試運転開始、15日本稼働、21日汚染水浄化装置、一時停止</p> <p>8月20日：汚染水浄化装置（東芝製サリー）機能低下、9月24日一時停止</p> <p>12月6日：汚染水浄化装置、漏出150リットル流出</p> <p>12月18日：汚染水230トン、地下道に滞留、海への流出なし</p> <p>12月29日：淡水化装置付近から漏水</p> <p>2012年に入って、浄化装置からの汚染水漏えいが断続的に確認</p> <p>3月：地下水バイパス試運転</p> <p>8月～2013年1月：地下貯水槽建設開始No. 1～7号完成</p> <p>9月15日：淡水化装置から漏水</p> <p>12月10日：港湾に流出するも、外洋に流出なしとする発表。</p>	<p>2011年4月8日：橋本昌茨城県知事、政府へ放射線汚染水海への放出対策申入れ</p> <p>4月15日：JA福島農業被害に関して、政府に申し入れ</p> <p>4月15日：茨城県知事、沿岸市町村長、漁業関係者、放射性汚染水の海への放出について政府へ申入れ</p> <p>6月23日：日本弁護士連合会会長、政府・東電に対して「地下遮蔽壁の設置などを求める」声明^⑧</p> <p>（2011年12月8日）：汚染水海洋排出計画に漁業団体猛反発</p>
2013年3月	<p>7日：第1回廃炉対策推進会議（議長茂木経産相）開催</p>	<p>3月18日：汚染水減らすため地下水バイパス試運転開始</p> <p>3月30日：放射性物質除去装置「ALPS」（ア</p>	<p>3月25日：東京海洋大学神田穰太教授「汚染水流出が停止したという2011年6月以降、17兆Bqの放射性セシウムが海に流出した</p>

		ルプス) 試験運転開始	とする試算発表
4月	10日: 茂木敏充経済産業相が地下貯水槽使用禁止を表明、汚染水は地上タンクへ 26日: 第1回汚染水処理対策委員会(委員業大西有三)開催	5日: 地下貯水槽から汚染水が漏れた可能性を発表。以後別の貯水槽からも漏えいの可能性が続く 11日: 汚染水移送配管から約22トンの漏れ 16日: 地下貯水槽の汚染水を地上タンクに移送開始 25日: 「地下貯水槽からの漏えい対応状況について」報告	4~9日: 各新聞、汚染水漏れ問題についての社説が続く、主な論調「対策の抜本的な見直しを」
5月		21日: 地下貯水槽から1.5mの井戸から0.29ベクレル/リットル	
6月	28日: 汚染水対策委員会のもと、「陸側遮水壁タスクフォース」を設置	9日: 高濃度の汚染水2万4千トン移送完了 11日: 「高濃度地下貯水槽からの漏えいについて」報告 14日: 「地下貯水槽からの漏えい事故に関する調査結果と今後の対策」報告書発表 15日: 4/10~6/10 汚染水回収状況発表、漏えい個所特定できず、広域拡散はない、など 16日: 試験運転中の「ALPS」のタンクから、処理前の高濃度汚染水が漏れた疑いがあると発表。原因を調べるために試験運転中止 19日: 海から25mの観測用井戸の水から50万ベクレル/リットルの放射性物質トリチウム検出と発表 24日: 港湾内の海水から高濃度1100ベクレル/リットルのトリチウム検出と発表	
7月	1日: 第1回陸側遮水壁タスクフォース(主査大西有三)開催	10日: 記者会見で汚染水海洋流出の証拠がない、原因解明中と発表①	25日: 福島、宮城、茨城3県の漁業関係者ら東電に抗議と要請「絶対海に流してほしくない

	<p>10日：原子力規制委員会田中俊一、汚染水と地下水が交わり「汚染水の海洋流出は大なり小なり続いている」②</p>	<p>12日：海から4~5mの観測用井戸のトリチウム値63万ベクレル/リットル(6/28日-43Bq、7/1日-51万Bq、7/5日-60万Bqと増加)検出 22日：汚染水が海に流出していると正式に認める</p>	<p>いと再三求めてきた。裏切り行為であり、強い怒りを感じる」</p>
8月	<p>2日：特定原子力施設監視・評価検討会・汚染水対策検討ワーキンググループ開催 7日：原子力災害対策本部会議で部長安倍首相「汚染水対策は東電任せでなく国としてしっかり対策を講じてゆく」、海に流出している汚染水は、1日300トンと政府試算 26日：茂木通産相汚染水対策には国が全面に出て仕切り直す 28日：原子力規制委員会がタンク漏えいを国際的自己評価尺度のレベル3(重大な異常事象)と評価</p>	<p>8日：ALPS停止、9月27日再開、停止、9月30日再開、10月4日停止、 13日：漏えいした地下貯水槽が雨で最大40cm浮き上がっていたことが判明 20日：地上貯水タンクからの漏えい量は約300トンと発表 25日：汚染水タンクの内部画像公開 27日：漏えいは7月前半からの可能性と発表 31日：地上タンク2基底部外側、前回22日100^{ミリ}シーベルト/時が最大1800^{ミリ}シーベルト/時を検出と発表</p>	<p>19日：地上タンク周辺で高線量の水たまり確認 28日：福島県漁業協同組合連合会が9月以降の試験操業の中断を決定 海外各国、汚染水問題の危険性を報道③</p>
9月	<p>3日：原子力災害対策本部会議「汚染水問題に関する基本方針」を発表。「流入する地下水にとって増加する汚染水への対応は継続するがいまだ解決に至っていない」「国が前面出でて必要な対策を実行する」、国費470億円投入、「廃炉・汚染水対策関係閣僚等会議」設置決定 7日：安倍晋三首相、国際オリンピック委員会総会の発言* ・状況はコントロールされている</p>	<p>5日：漏れた汚染水が地下水に到達の可能性ありと発表 24日：「高濃度の放射背物質を含むたまり水の貯蔵及び処理状況について」報告書 27日：閉会中の審査で、広瀬社長答弁・謝罪「発電所由来の核物質が含まれている可能性があるかもしれない水は出ている」 「港湾内の水は2日で全部入れ替わっているので完全にブロックされているというのは言い過ぎである」⑤</p>	<p>5日：日本弁護士連合会会長、政府・東電へ「速やかな汚染水対策を求める」声明発表⑧ (11日)：毎日新聞世論調査「汚染水対策の対応が遅かった」72% (16日)朝日新聞世論調査「汚染水はブロックされているか、そうは思わない」66% 16日：国際原子力機関(IAEA)総会(ウィーン)で開催された日本政府主催の福島第1原発汚染水漏れ問題に関する説明会で、各国から抜本対策の遅れや規制当局のあり方</p>

	<p>・汚染水による影響は港湾内 0.3km 内で完全にブロックされている</p> <p>・現在も将来も健康被害はない ④</p> <p>9日：第1回汚染水対策現地調整会議開催 10日：第1回廃炉・汚染水対策関係閣僚等会議開催、廃炉・汚染水対策チーム（チーム長茂木経産相）設置 13日：原子力規制委員会のもとに第1回海洋モニタリングに関する検討会（担当中村佳代子原子力規制委員） 27日：衆院経産委員会が閉会中審査を開催</p>	<p>28日：ALPSの不具合発覚、停止 30日：堰にたまった雨水排出基準を原子力規制委に示す</p>	<p>などへ厳しい指摘相次ぐ</p> <p>25日：福島県漁業協同組合連合会が試験操業を再開 （29日）：日本経済新聞世論調査「汚染水はコントロールされているという発言には違和感がある」82%</p>
10月	<p>4日：規制庁、東電に人為的ミス対策を早急に 15日：185回議会首相所信表明演説「国が前面に立って責任を果たしていく」⑦ 16日：衆院予算委で松野頼久議員への答弁・汚染水の影響についてはブロックされている ・健康への被害にも全く問題がないことはモニタリングの結果から明らか 21日：衆院予算委で玉木雄一郎議員への茂木通産相の答弁 ・全体として状況はコントロールされ、汚染水の影響はブロックされている 22日：衆院予算委で笠井亮議員への答弁 ・モニタリングの結果、すべて基準値よりもはるかに下回る数値しか出てない、そういう意味で汚染水の影響は完全にブロックされているから、考え方は変わってはいな</p>	<p>2日：地上貯水タンクの天板から漏水、（溶接ではない）ボルトつなぎ簡易タンクが多数であることが報告され、20万ベクレル/リットル検出、海に流出の可能性あり 9日：淡水化装置の配管接続部を協力企業作業員が誤って外し、高濃度の汚染水が漏れ、作業員11人のうち6人が汚染水を浴びたと発表 15日：東電、報告書「汚染水貯留設備タンクからの漏えいの問題点と現場管理の強化について」を規制委に提出 23日：汚染水漏れタンクの堰内での20日採取した水から放射性物質51万ベクレル/リットル検出 23日：外洋につながる排水溝から採取した水は14万ベクレル/リットル検出 （22日）：東電、汚染水凍結実証実験中 24日：堰内に溜った汚染水を、漏えいのあつ</p>	<p>1日：ホースの接続ミスで汚染水推定5トン漏えい 2日：傾いたタンクから高濃度の汚染水が外洋に流出 （6日）：朝日新聞世論調査「状況はコントロールされているか、そうは思わない」76% 8日：波江町議会「浪江町の復興に向けての要望書」政府に提出 ⑥ 12日：福島原発原告団（武藤類子団長）東電社長、新旧幹部らを健康に係る公害犯罪で告発、県警受理後捜査に入る 15日：佐藤雄平福島県知事、福島第1原発地上タンク群など視察、2012年3月以来2度目 （16日）：フランス、関係団体が汚染水対策で提携に意欲を示す</p>

	<p>い</p> <p>22日：茂木通産相、東電に汚染対策強化を要請</p> <p>24日：田中原子力規制委員長「高濃度汚染水を早急に取り除くことが海洋流出防止対策だ」、汚染水増大の抜本的対策として、「(放射性物質の濃度が基準以下の)水を海に捨てられるようにしないとにっちもさっちもいかないだろう」</p> <p>堰内の汚染水の直接排水を条件付きで追認(24日)：自民党、汚染水特別措置法原案まとめる</p> <p>25日：鈴木貴子衆院議員・江口克彦参院議員の質問主意書に答えた政府答弁</p> <p>・影響は完全にブロックされており、全体として状況はコントロールされている</p> <p>25日：東電の堰の水の放出手順の簡略化、原子力規制委員会了承</p> <p>28日：田中原子力規制委員長、東電広瀬社長と面談、汚染水改善要請</p>	<p>た(欠陥)地下貯水槽への移送始まる。</p>	
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------	--

(注1) 日付の()は、記事の日付を示す

(注2) 汚染水観測地点の、地下貯水槽、地上タンク堰内の水、観測用の井戸水(海からの距離も、)港湾内海水などの別に要注意のこと

(注3) 重要記事の項末の数字は、原資料が閲覧できる URL を示した(2003年10月28日現在)

①7月10日 東京電力記者会見

<http://iwj.co.jp/wj/open/archives/89849>

②7月10日 原子力規制委員会田中俊一委員長記者会見

<http://iwj.co.jp/wj/open/archives/89736>

③9月1日 共同通信「五輪招致への影響、指摘も 汚染水問題、各国報道」

<http://www.47news.jp/47topics/e/245218.php>

④9月7日 国際オリンピック委員会総会での日本のプレゼンテーション(全文)

http://www.huffingtonpost.jp/2013/09/07/olympic_candidate_tokyo_presentation_n_3886260.html

⑤9月27日東京電力発表「福島第1原子力発電所の汚染水対策について」

<http://www.tepco.co.jp/news/2013/images/130927a.pdf>

⑥10月8日 浪江町の復興に向けた要望書（浪江町議会）

<http://www.town.namie.fukushima.jp/uploaded/attachment/2072.pdf>

⑦10月15日 185回議会首相の所信表明演説

http://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/statement2/20131015shoshin.html

<http://www.asahi.com/politics/update/1015/TKY201310150122.html>

⑧9月5日 日本弁護士連合会会長声明

<http://www.nichibenren.or.jp/activity/document/statement/year/2013/130905.html>

2011年6月23日 日本弁護士連合会会長声明

http://www.nichibenren.or.jp/activity/document/statement/year/2011/110623_4.html